

第22回浜岡地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 開催日時

令和8年3月19日（木） 15:00～16:00

2. 開催場所

静岡県庁 別館5階 危機管理センター西側及びTV会議

3. 参加機関

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省資源エネルギー庁、
経済産業省中部経済産業局、国土交通省、陸上自衛隊、
海上保安庁
- (2) 関係自治体等 : 静岡県、静岡県警察本部、御前崎市、牧之原市、掛川市、菊
川市、吉田町、袋井市、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、
森町、中部電力株式会社、中日本高速道路株式会社
- (3) 庶務 : 内閣府 林田推進官、相馬専門官、伊藤参事官補佐、
鈴木専門官、原田防災専門官

4. 議 題

- (1) 関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について
- (2) 令和7年度静岡県原子力防災訓練における実施結果の報告
- (3) その他

5. 配付資料

資料1 「浜岡地域関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について（案）」

資料2 「静岡県原子力防災訓練の実施結果」

6. 概 要

冒頭で、令和8年1月に中部電力株式会社が公表した浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案を踏まえ、原子力防災は、発電所に核燃料が存在する限り、住民の安全・安心の確保に向けた防災体制の充実に継続して取り組む必要があるという認識を関係者間で共有した。

(1) 関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について

○内閣府から、資料1に基づき、牧之原市（UPZ）に加え、掛川市、菊川市、磐田市、袋井市、島田市、吉田町、森町における避難先への具体的な避難経路、原子力災害時の医療等の実施体制、国の実動組織の支援体制を説明した。

なお、掛川市及び菊川市の避難経路は、一時集合場所を追加し、第19回作

業部会資料から更新、袋井市及び森町の避難経路も同様に一時集合場所を追加し、第18回作業部会資料から更新している。

- 島田市から、避難先である東京都内の避難経由所について、現時点で候補地の施設管理者から概ね了承を得ていること、今後、関係者の合意を得たうえで、島田市原子力災害広域避難計画に反映したい旨の補足説明があった。

(2) 令和7年度静岡県原子力防災訓練における実施結果の報告

- 静岡県から、資料2に基づき、訓練の概要や成果及び課題について報告があった。また、図上訓練には、およそ15年ぶりに知事が参加し、実動訓練では、副知事が避難退域時検査場所を視察したことにより、参加者の士気高揚につながった旨の報告があった。

加えて、課題として住民周知を挙げ、次回以降の訓練では、エリアメール等の活用を検討していると説明があった。

以上